

CS こひつじ科礼拝式次第

2022年3月27日 午前9時30分

2022年度年間テーマ：「イエス様の祈り『主の祈り』によって、祈ることを身につけよう」

テーマ曲：ワワワいっしょに（92番）

暗唱聖句：「信仰とは、望んでいる事柄を確信し、見えない事実を確認することです。」

ヘブライ人への手紙11章1節

53、あさです（こどもさんびかをお用いください）

おいのり 礼拝に招かれたことを感謝しましょう

せいしよ 創世記1章21～23節

神は水に群がるもの、すなわち大きな怪物、うごめく生き物をそれぞれに、また、翼ある鳥をそれぞれに創造された。神はこれを見て、良しとされた。神はそれらのものを祝福して言われた。「産めよ、増えよ、海の水に満ちよ。鳥は地の上に増えよ。」夕べがあり、朝があった。第五の日である。

子どもカテキズム問11：聖書の中で、神さま「父」、「子」、「聖霊」と呼ばれていますが、神様はただひとりではないのですか。

こたえ：聖書の中でそう呼ばれている方は、父なる神さま、子なる神さま、聖霊なる神さまで、それぞれが力と栄光において等しく、同時にただひとりの生きたまことの神さまです。私たちは、ただ聖書に従って、この三位一体の神さまを信じます。

問12：三位一体の神さまは私たちの救いのためにどのように働かれますか。

こたえ：父なる神さまは救いを計画し、子なる神さまは救いをなしとげ、聖霊なる神さまはその救いを私たちのうちに与えてくださいます。私たちの救いは初めから終わりまですべて神さまの恵みの働きです。

おはなしとおいのり 「なんてすばらしい世界！」 狩野照乃先生

おはようございます。少しずつ暖かくなってきましたね。新学期に向けての準備は整いましたか。今年は「主の祈り」を学び始め、今月の前半まで続けました。そして今月の後半は天地創造を学びます。今日の聖書箇所をもう一度読んでみましょう。

神さまは光と闇を分け、天と地を創造されたあと、人以外の生き物を創造されました。生き物はさまざまな色や形に生まれ、さまざまな色や形に変化するように創造されました。神様はこれを見て良しとされました。キャンプに行ったことのある人は、自然の美しさに感動したことがあると思います。その美しさは神様が良しとされた美しさなのです。春は暖かくなり、花が咲き始め、虫たちが活動を始めます。夏は暑くなり、草木が生い茂り、生き物の活動が最も多くなります。秋は涼しくなり、草木が紅葉し、虫たちは冬支度の前の活動を始めます。冬は寒くなり、葉は枯れ落ち、生き物の活動が最も少なくなります。冬を越せない生き物は、子や卵を産んだ後に命尽き果てます。こうした生き物の連鎖の一つ一つは、すべて神さまが創造されて、祝福されたものなのです。

この世界は、神さまのみ言葉によって、順序正しく、秩序正しく創造されました。私たちは、このすばらしい世界を神さまから与えられました。私たちは、これを感謝して受けとることが大切です。それは聖書にこう書き記されているからです。「神がお造りになったものはすべて良いものであり、感謝して受けるならば、何一つ捨てるものはないからです。(1テモテ 4:4)」感謝するとは、神さまが祝福してくださった良いものだということを覚えて「ありがとう」という気持ちを伝えることです。そして感謝して受けるということは、神さまから与えられたものを「感謝していただく」ということです。私たちが見たり、聞いたり、触れたり、味わったりするものはすべて感謝して受けることが大切なのです。

神さまが私たちにお与えになったのは生き物だけではありませんでした。聖書にはこう書き記されています。「神は、その独り子をお与えになったほどに、世を愛された。独り子を信じる者が一人も滅びないで、永遠の命を得るためである。神が御子を世に遣わされたのは、世を裁くためではなく、御子によって世が救われるためである。」(ヨハネ 3:16-17)神さまは、私たちが救われるためにイエスさまをお与えになりました。イエスさまは、神さまがご計画されたことを成し遂げるために、この世に与えられたのです。聖書はイエスさまについて証しをするもの(ヨハネ 5:39)ですから、この聖書に書き記されたこと一つ一つを感謝して受けることが大切です。それは「感謝して受けるならば、何一つ捨てるものはないからです。」

お祈り：御父、御子、御霊の三つにして一つなる神さま、今週も御言葉を学ぶときを与えてくださり感謝します。神さまは天地を創造され、私たちにすべて良いものを与えてくださいました。そして、神さまの救いのご計画を御子イエスさまが成し遂げてくださったことを心に留めて、日々感謝して受けることができますように。今週も神さまにすべてを委ねて、お互いを思いやり、喜びの中で、主と共に歩んでいくことができますように。私たちの救い主イエスさまのお名前を通してお祈りします。アーメン。

* 小さなお子さまには、話の内容等をわかりやすく、年齢に合わせて噛み砕いてお話くださいますようお願い致します。

(けんきん) 会堂2階掲示板下の机に献金箱を設置しました。

おいでの際におささげください。

7、すずめやはとを (こどもさんびかをお用ください)